

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	ハイリスク妊娠・分娩への看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) <small>時間(単位)</small>
対象学年	2学年		学期及び曜時間	後期	教室名	新館2階/3階
担当教員	大山 晴美	実務経験とその関連資格	助産師、不妊カウンセラー 新生児訪問や不妊電話相談事業。ほたる助産院開業、産後ケア施設での勤務経験等。			
《科目目標》 1)マタニティサイクル期における代表的なハイリスク疾患の観察の仕方、母子とその家族への看護実践について理解できる。 2)ハイリスク母子への理解を深め、社会保障制度の活用や人の一生の中での親役割支援について理解できる。						
《成績評価の方法と基準》 課題レポート 10%、筆記試験 70%、小テスト20% 【評価基準】 優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、小林康江・中込さと子・荒木奈緒編、株式会社メディカ出版 参考図書: ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護、中込さと子・小林康江・荒木奈緒編、株式会社メディカ出版 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①、森恵美ほか、医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②、森恵美ほか、医学書院 病気がみえるvol.⑩ 産科 第4版、株式会社メディックメディア ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図 医学書院						
《授業外における学習方法》 1)講義前には教科書を読み言葉の意味調べ等、予習をして臨むこと。 2)事前学習課題には誠実に取り組み、提出期限を厳守すること。 3)講義後には復習を行い、知識の定着を図ること。 4)講義に関連する報道・記事などに関心を持ち、発展的理解に努めること。						
《履修に当たっての留意点》 1)母性看護学援助論Ⅰで学んだ正常経過を復習したうえで、異常編の理解に繋げていく。 2)ハイリスクにある対象の身体的・心理的・社会的側面を、思いやりをもって理解を深める。 3)母性看護学概論で学んだ女性生殖器の正常を基礎とし、疾患をもった対象の理解に繋げていく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	妊娠期の異常と看護のポイントを理解することができる①		ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、小林康江・中込さと子・荒木奈緒編、メディカ出版 P.82-114	事前課題 プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・異所性妊娠、流産・切迫流産、不育症、早産・切迫早産 ・妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、妊娠貧血 ・RH不適合妊娠 				
第2回	授業を通じての到達目標	妊娠期の異常と看護のポイントを理解することができる②		ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、小林康江・中込さと子・荒木奈緒編、メディカ出版 P.82-114	事前課題 プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・多胎による異常 ・合併症妊娠 ・妊娠期の感染症 ・羊水量の異常 ・胎児機能不全 ・前置胎盤、常位胎盤早期剥離 				
第3回	授業を通じての到達目標	分娩期の異常と看護のポイントを理解することができる。		ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、小林康江・中込さと子・荒木奈緒編、メディカ出版 P.152-188	事前課題 プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩の三要素に起因する異常 ・胎児または母体の全身状態が不良となる病態 ・分娩期に行う処置・手術(吸引・鉗子・帝王切開) ・ハイリスク分娩(頸管裂傷、弛緩出血) 				
第4回	授業を通じての到達目標	産褥期の異常と看護のポイントを理解することができる①		ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、小林康江・中込さと子・荒木奈緒編、メディカ出版 P.242-269	事前課題 プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期にみられる正常逸脱状態(子宮復古不全・排尿障害) ・乳房・乳頭のトラブルの種類、症状、原因、支援 ・帝王切開術後の影響とその看護 ・マタニティブルーと産後うつとの看護、EPDSスコアの活用 				
第5回	授業を通じての到達目標	産褥期の異常と看護のポイントを理解することができる②		ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、小林康江・中込さと子・荒木奈緒編、メディカ出版 P.242-269	事前課題 プレテスト ポストテスト	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリネイタルロスを体験した母親や家族へのケア ・先天異常、障害をもつ子どもの親へのケア 				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 新生児期の異常と看護のポイントを理解することができる①	ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の 実践、小林康江・中込 さと子・荒木奈緒編、メ ディカ出版 P.296-324	事前課題 プレテスト ポストテスト
	各コマにおける授業予定	・早産児・低出生体重児にみられる病態・疾患 ・新生児にみられる病態・疾患(光線療法・新生児メレナ) ・早産児・低出生体重児の特徴と看護の意義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 新生児期の異常と看護のポイントを理解することができる②	ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護 の実践、小林康江・中込 さと子・荒木奈緒編、メ ディカ出版 P.296-324	事前課題 プレテスト ポストテスト
	各コマにおける授業予定	・ディベロップメンタルケア ・早産児・低出生体重児の家族の看護ケア		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 終講試験	筆記試験用紙	ファイル提出
	各コマにおける授業予定	終講試験 まとめ		